

【解説文】

サクラやウメなど日本のシンボルとも言える木を枯らすことで問題になっている特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」は、発見状況が20都府県に拡大し、県内においても、今年2月に海津市で幼虫が初めて発見され、7月までに各務原市、羽島市、海津市で成虫を確認しています。

これ以上の拡大を防ぐため、夏休み期間を利用し、県民の皆様の協力をいただきながら、県全域での一斉調査と駆除を実施します。

実施期間は、8月7日から9月7日までの1か月間です。海津市、各務原市、羽島市で駆除した成虫と、発見日時や場所などを記録した応募用紙を提出していただきますと、持ち込み個体数が多い方に県産品の詰め合わせ（3,000円相当）を進呈します。

また、更なる拡大を防ぐため、3市以外で成虫を発見し、駆除した場合も抽選で同じ景品を進呈します。

「クビアカツヤカミキリ」は東アジアの昆虫で、体全体は光沢のある黒色、首の部分が赤色であることが特徴の特定外来生物です。

作戦の実施にあたっては、特に次の4点に注意してください。

1 点目、このカミキリは人体に害があるとの情報はありますが、駆除の際はかまれたり、怪我をしたりしないよう十分注意してください。

2 点目、特定外来生物は生きた状態での飼養、保管、運搬等は禁止されていますので、発見した場合は殺虫剤や踏み潰すなど、駆除した状態で保管、運搬いただくようお願いします。

3 点目、仮に個体を発見しても、民家や畑、果樹園などの他人の土地や、川や高所など危険な場所には絶対入らないでください。

4 点目、この作戦は生息調査を兼ねていますので、後日、発見場所について詳しくお尋ねすることがありますので、その際にはご協力をお願いします。

今回の大作戦は、成虫を駆除して被害を防ぐことに併せて、これまで確認されていない市町村にも侵入している可能性があることから、県民の皆様の協力をいただきながら、県全域で一斉調査することを目的に実施するものです。

県民の皆様には、お盆休みなどを利用して岐阜県の自然環境を守るために一斉調査と駆除にご協力をお願いします。